

東村山市独自の交通安全対策活動を実施

～小学校や保育園の出入口に子ども達自身で「ストップマーク」を貼り付け～

東村山市では、交通安全の意識付けを行うための交通安全啓発活動として、他市に類の無い、子ども達が自ら「飛び出しストップマーク」シールを小学校や保育園の出入口に貼り付ける活動を市内全 8 保育園、全 15 の公立小学校で展開中です。

■「ストップマーク」のきっかけ

市・都市環境部交通課では、一年をとおして交通安全対策を行っており、様々な年代に対して警察や交通安全協会等と共に交通安全教室等で交通安全を呼び掛けております。4 月のある日、市立小学校で新一年生の歩行訓練を行った際に、学校側から校門前にある「止まれ」のマークが薄くなってきたので書き直してしてほしいとの要望を受けました。しかしながら、「止まれ」マークは溶着されており、直ちに書き直すことができないことからそれに代わる路面に張り付ける「ストップマーク」を設置することとなりました。

■自らやってみると愛着ある「ストップマーク」となって

「ストップマーク」の設置にあたっては、まず路面に特殊なボンドのようなものを塗り、その上に「ストップマーク」シールを張り、上からゴムハンマーで叩き路面に接着していきます。ある日交通課担当が小学校正門前にてゴムハンマーで「ストップマーク」を叩いていると、小学生たちが「ストップマーク」に興味を示し集まってきたことから、当初「ストップマーク」の意味等を説明していたのですが、「ゴムハンマーで叩くことは小さな子でもできる、子ども達に設置させるほうが意識付けになる」と感じ、寄ってきた子ども達にゴムハンマーを渡して叩かせることにしました。子ども達は、初めての体験で一生懸命叩き、目を輝かせながら「自分で付けたから、守るよ」と話してくれました。

■大人たちも見習って

現在、大人の交通マナーが悪くなっております。小学校での歩行訓練をしている目の前で信号無視をする大人が多く見受けられます。平気で信号無視をして道路を渡る大人にも交通安全、交通ルールを守ることを意識してもらい子どもの手本となる行動をしてもらいたいと市・交通課では考えております。